

「2025年3月短観（茨城県）」の解説

【判断 D.I.】

- 業況判断 D.I.は、製造業、非製造業ともに改善したことから、全産業でも「良い」超幅が拡大しました。
- 先行き2025年6月までの予測では、製造業、非製造業ともに悪化し、全産業でも「良い」超幅が縮小すると見込まれています。

【事業計画】

- 2024年度の事業計画をみると、業績は、前年度対比「増収・増益」となる見込みです。設備投資は、前年度を上回る見込みとなっています。
- 2025年度の事業計画をみると、業績は、前年度対比「増収・減益」となる計画です。設備投資は、前年度を上回る計画となっています。

I. 判断 D.I.

1. 業況判断

- 企業の業況判断 D.I.は、製造業（前回 4→今回 8）、非製造業（同 10→同 11）ともに改善したことから、全産業（同 8→同 9）でも改善した（改善は 2 期振り）。
- 全国の動き（全国短観）をみると、製造業（前回 8→今回 7）が悪化した一方、非製造業（同 20→同 21）が改善したことから、全産業（同 15→同 15）では横ばいとなった。
- ☆ 県内の業種ごとの主な動きをみると、製造業では、窯業・土石、電気機械、輸送用機械が悪化した一方、鉄鋼、食料品、はん用・生産用・業務用機械が改善した。
- ☆ 非製造業では、建設が悪化した一方、卸売、小売、宿泊・飲食サービスが改善した。
- 先行き2025年6月までの予測では、製造業（今回 8→先行き 1）、非製造業（同 11→同 9）ともに悪化し、全産業（同 9→同 6）でも悪化が見込まれている。

2. 需給・在庫・価格判断

- 国内での製商品・サービス需給判断（全産業）は、非製造業が「供給超過」幅を拡大した一方、製造業が供給超過幅を縮小させたことから、全産業では「供給超過」幅が縮小した（前回 $\Delta 14 \rightarrow$ 今回 $\Delta 12$ ）。先行きについては、「供給超過」幅の拡大を予測（今回 $\Delta 12 \rightarrow$ 先行き $\Delta 14$ ）。
- 海外での製商品需給判断（製造業）は、「供給超過」幅を拡大した（前回 $\Delta 17 \rightarrow$ 今回 $\Delta 19$ ）。先行きについては、「供給超過」で横ばいを予測（今回 $\Delta 19 \rightarrow$ 先行き $\Delta 19$ ）。
- 製商品在庫水準判断（全産業）は、「過大」超幅を縮小した（前回 $17 \rightarrow$ 今回 11 ）。
- 仕入価格判断（全産業）は、「上昇」超で横ばい（前回 $49 \rightarrow$ 今回 49 ）。販売価格判断（全産業）は、「上昇」超幅が縮小した（同 $31 \rightarrow$ 同 27 ）。先行きについては、仕入価格判断（全産業）は、「上昇」超幅の拡大を予測（今回 $49 \rightarrow$ 先行き 54 ）。販売価格判断（全産業）は、「上昇」超幅の拡大を予測（同 $27 \rightarrow$ 同 34 ）。

3. 設備・雇用人員判断

- 生産・営業用設備判断（全産業）は、「過剰」超幅を縮小した（前回 $4 \rightarrow$ 今回 2 ）。先行きについては、「過剰」超幅の拡大を予測（今回 $2 \rightarrow$ 先行き 4 ）。
- 雇用人員判断（全産業）は、「不足」超幅を拡大した（前回 $\Delta 31 \rightarrow$ 今回 $\Delta 35$ ）。先行きについては、「不足」超幅の拡大を予測（今回 $\Delta 35 \rightarrow$ 先行き $\Delta 39$ ）。

4. 企業金融関連判断

- 資金繰り判断（全産業）は、「楽である」超幅が縮小した（前回 $11 \rightarrow$ 今回 6 ）。金融機関の貸出態度判断（全産業）は、「緩い」超幅が縮小した（同 $14 \rightarrow$ 同 9 ）。この間、借入金利水準判断（全産業）は、「上昇」超幅が拡大した（同 $47 \rightarrow$ 同 61 ）。

Ⅱ. 事業計画

1. 売上高

- 2024年度の売上高は、製造業（前年度比 $\Delta 0.8\%$ ）が減収見込みの一方、非製造業（同 $+1.8\%$ ）が増収見込みとなり、全産業（同 $+0.4\%$ ）では4年連続の増収となる見込み（前回調査から $\Delta 0.1\%$ の下方修正）。
- 2025年度の売上高は、製造業（前年度比 $\Delta 0.2\%$ ）が減収計画の一方、非製造業（同 $+0.6\%$ ）が増収計画となり、全産業（同 $+0.2\%$ ）では5年連続の増収となる計画。

2. 経常利益

- 2024年度の経常利益は、非製造業（前年度比 $\Delta 13.3\%$ ）が減益見込みの一方、製造業（同 $+26.9\%$ ）が増益見込みとなり、全産業（同 $+10.8\%$ ）では4年振りの増益となる見込み（前回調査から $+1.2\%$ の上方修正）。
- 2025年度の経常利益は、非製造業（前年度比 $+16.8\%$ ）が増益計画の一方、製造業（同 $\Delta 31.2\%$ ）が減益計画となり、全産業（同 $\Delta 16.2\%$ ）では2年振りの減益となる計画。

3. 設備投資額

- 2024年度の設備投資額（ソフトウェアを含むく除く土地投資額）は、製造業（前年度比 $+40.4\%$ ）、非製造業（同 $+26.8\%$ ）ともに増加見込みとなり、全産業（同 $+36.3\%$ ）でも2年振りの増加となる見込み（前回調査から $\Delta 3.8\%$ の下方修正）。
- 2025年度の設備投資額（ソフトウェアを含むく除く土地投資額）は、非製造業（前年度比 $\Delta 22.1\%$ ）が減少計画の一方、製造業（同 $+11.1\%$ ）が増加計画となり、全産業（同 $+1.7\%$ ）では2年連続の増加となる計画。

以 上

(参考)

茨城県と全国の業況判断D. I. (全規模)の推移

